

# EMボカシを利用した有効肥料の作り方

## 1 生ごみ専用バケツを用意する

ふたが密封でき、容器の底に液肥抜きのある専用バケツを用意します。



- ・容量の目安は、4人家族で15ℓ程度です。
- ・生ごみを堆肥化するためには、熟成させる時間が必要です。その間に生ごみをためておくために、容器は2個あると便利です。

## 2 生ごみを水切りし、容器に入れる

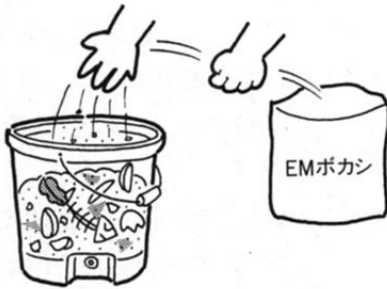
生ごみを腐敗させないように、十分水切りをしてください。スイカの皮などの大きな生ごみは小さくカットし、卵の殻などは砕いていれると良いでしょう。



- ・入れてはいけない物は：  
タバコの吸殻・ラップやポリ容器などの埋めても土に還らない物・腐ってしまった物

## 3 生ごみの上からEMボカシを振りかける

生ごみ1kg（三角コーナー1杯）に対し、EMボカシをひと握り（10〜20g）が目安。ごみの表面を覆うように満遍なく振りかけます。（夏場は多めに）



## 4 容器が一杯になるまで繰り返し返す

容器が一杯になるまで、以上の2〜3を繰り返します。容器の底に水分（液肥という）がたまりません。1日1回この液肥を液肥抜きから抜きます。



- ・液肥は、500〜千倍に薄めて土壌改良材として、花や作物にかけただけでなく、風呂や台所、洗面所の排水口やトイレに流すとぬめりや匂いが取れます。

## 5 直射日光を避け、熟成させる

容器の生ごみが一杯になったら、熟成させるため、直射日光を避け、常温で温度変化の少ない場所に1〜2週間置きます。

・熟成させている間は、空気をきらうのでふたを開けないでください。

・液肥はこの間もまめに抜いてください。



## 6 成功したら堆肥として使えます

1〜2週間たったらふたを開け、においをかいでみます。ぬかみそのような香ばしい発酵臭がしたら成功です。

成功した肥料は、プランターや庭、家庭菜園などで利用しましょう。

・完成しても形は生ごみそのままです。庭やプランターの土に埋めることで、生ごみは2〜3週間で有機物の豊富な良質の土に変わります。

問い合わせ  
取り扱い…

ごみを考える会 会長 二村宅(☎68-3340)  
清掃事務所 (原山焼却場内・☎68-6013)